

## 神戸市立高倉中学校前の壁画制作にイラスト部と美術部が協力

神戸女子大学須磨キャンパスに隣接する神戸市立高倉中学校前の通学路のトンネルに絵を描く壁画制作プロジェクト「誰もが笑顔でつながり自然あふれる高倉」に、大学のイラスト部と美術部の部員が協力し、壁画を完成させた平成30年8月31日（金）にその除幕式が行われました。

この壁画制作プロジェクトは、トンネルの壁に落書きが見つかり、中学校で二度とこのようなことが起きないように絵を描くことが提案されたことにより発足したものです。

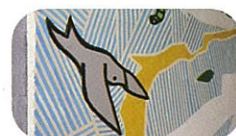
神戸市立高倉中学校の全生徒が壁画の原案を考え、全生徒による投票で、3年生の男子生徒の描いた絵を採用することが決まりました。「生き生きとした自然と明るい未来」をテーマとして、葉がいっぱい茂った大木から光がさし、緑豊かな高倉にふさわしい空気と光を感じさせる絵です。

このプロジェクトは、中学校の教員、神戸市建設局の職員、学生が作業の手順や作業方法を協議して進めました。美術部の学生が水溶性のペンキを使うことなどを提案し、中学校からは美術部と生徒会の皆さんが参加し、具体的な制作作業が8月16日（木）に始まりました。絵を描くことが得意な学生と生徒が集まったので、わずか3日で絵がほとんど仕上がりに、除幕式当日、神戸市立高倉台小学校と神戸市立北須磨小学校の有志の児童の皆さんと一緒に最後の仕上げをしました。

イラスト部と美術部の学生たちは一緒に活動を始めて、お互いが刺激して知識や技術を学び合え、自分たちの活動で地域に貢献できたことを大変嬉しく感じ、今後も絵を描くことで地域貢献をしていく決意を固めていました。



最後の仕上げをするイラスト部の学生



トンネルの左端にもう一羽ツバメを付け加えることになり、イラスト部の部長が描き加えた



協力したイラスト部と美術部の学生、除幕式後に壁画の前で記念撮影



高倉中学校前で行われた除幕式の様子

## 「第5回 チャレンジ! 糖尿病いきいきレシピコンテスト」出場

平成30年10月7日（日）に公益社団法人日本糖尿病協会主催の「第5回チャレンジ! 糖尿病いきいきレシピコンテスト」関西地区二次実技審査（最終選考）において、神戸女子大学家政学部 管理栄養士養成課程の辻 秀美教授の4年生のゼミ生、チーム名「辻ゼミ」岡田 真保さんと三谷 優花さんが審査員奨励賞を受賞しました。

このコンテストは栄養士・管理栄養士を目指す全国の学生から241件の応募があり、12校14チームが最終選考へ進み、3地区（東北・九州・関西）で実技と試食審査が行われました。

受賞したのは糖質や脂質の吸収を抑える「β-グルカン」が豊富なもち麦を主食にした野菜がたっぷりの「午後も元気! もち麦入りドライ風カレー弁当」です。

二人は他の参加者との交流を通して学ぶことも多く、糖尿病について深く学べる機会になりました。



- 午後も元気!  
もち麦入り  
ドライ風カレー弁当
- ・もち麦入りドライカレー ※ルーにもご飯にももち麦が入っています
  - ・うずら卵の目玉焼き
  - ・噛むサラダ(たけのこ入り)
  - ・よく噛むためのリンゴ



受賞した岡田真保さん(右)三谷優花さん(左)と辻秀美教授